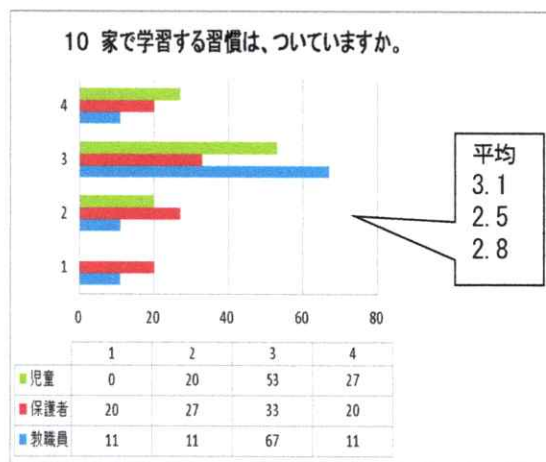


10 「家で学習する習慣が身についている」

児童が「家庭学習をしっかりと行っている」と思っている一方、教職員・保護者の多くが「家庭学習の習慣が十分に身につけていない」と感じている。毎日机に向かう習慣を身に付けるためにも学校からは宿題を出しているが、それだけでは家庭学習に取り組んだとは言えない。宿題をきつかけに、努力が必要であると感じる内容を自ら学習できるようにしていきたい。特に高学年は、中学・高校への進学を見据え、自主的に学ぶ姿勢を身に付ける必要がある。

そのための学習への取り組みせ方や声掛けの仕方について、全職員と家庭で共通理解のもと、力を入れていきたい。

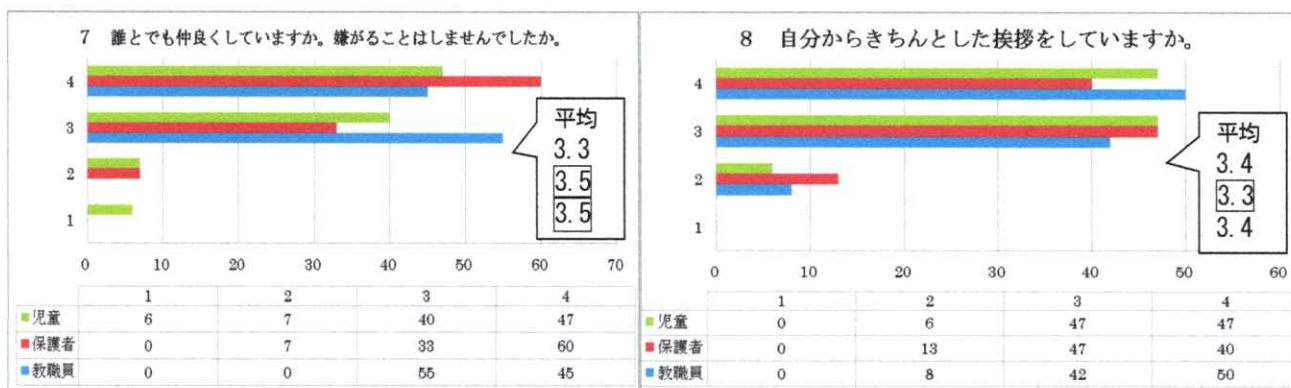


⑧きれいな心 心豊かで思いやりのある子供の育成に関連して 7 「誰とでも仲良くしている。嫌がることをしなかった。」

多くの児童が、友達とよい関係を築くことができていることがうかがわれる。年間3回設けている「心の元気っ子タイム（児童との個別の面談）」等を活用し、児童の話をじっくり聞き、問題のある時にはすぐに対応している。担任のこれらの努力もあって、児童間のトラブルも少なくなり、児童は良い友人関係を築くことができている。

8 「自分から進んで(大きな声で、にこやかに)挨拶をする」

挨拶については個人差が大きい。教職員や地域の方に挨拶ができる児童は増えたと感じるが、まだ「自分から進んで」できない児童もいる。さらに「大きな声で」「にこやかに」ということは苦手としている児童が多い。職員共通理解のもと、教師から挨拶の声をかけるということの徹底を見直し、学校全体での取組や学級での指導を工夫していきたい。地域の方が愛情込めて声をかけてくださることに気付き、感謝の気持ちを持って挨拶できるよう豊かな心を育てていきたい。



学校評議員の皆様・保護者の皆様からのご意見の一部

- ・いろいろな子がいて、みんな仲間なんだよ、という教育を続けてほしい。子どもが少なくなり、いろいろな行事などが縮小なのは寂しい気がする。
- ・先生方にはとても良くしていただいているが、本人の気持ちが向かないことが増えていて困っている。教育活動においては、人数が減っていることが心配。
- ・班活動などはできないが、いろいろな経験を学校生活の中でしてほしいと願っている。
- ・少人数であるが、発表などの声を大きくし、元気よくやり取りをしていけるとよい。
- ・強い子のわがママが通る傾向にある。「話し合い」ができるよう、年上の子が下の子の意見を聞いてまとめる力を付けてほしい。

【今後の取組】《学習面》《生活面》

学校評価の結果と頂いたご意見をもとに学習指導・生活指導を見直し、子供たちが安全に楽しく通い、それぞれの力を最大限に発揮できる学校づくりに、職員一同尽力してまいります。

※その他いろいろなご意見をいただき、ありがとうございました。次年度の学校運営に生かしてまいります。

